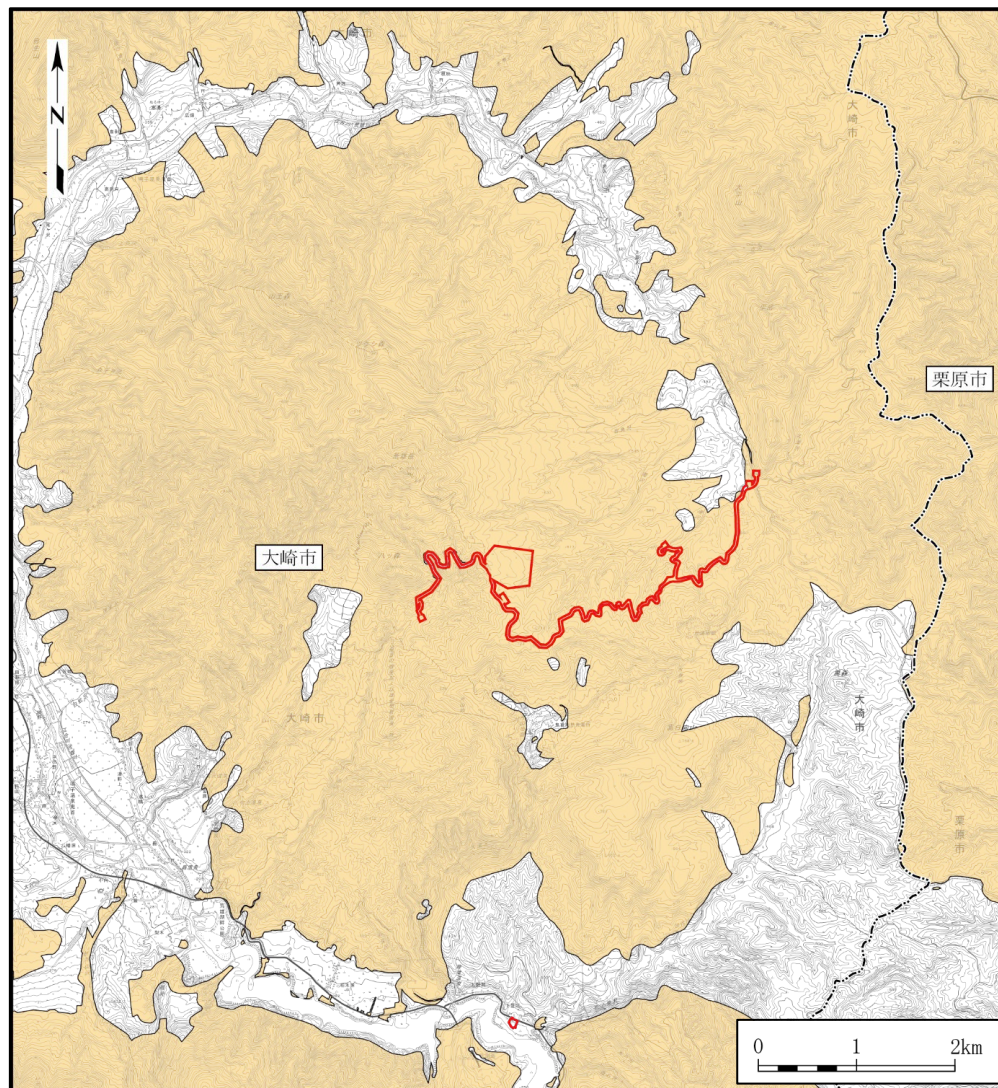


## ●保安林



- ✓ 保安林で立木の伐採等を行う場合  
予め知事の許可が必要
- ✓ 今後の環境影響評価の結果・法令  
等を踏まえ、保安林の機能への影  
響の最小化の観点から関係機関と  
協議

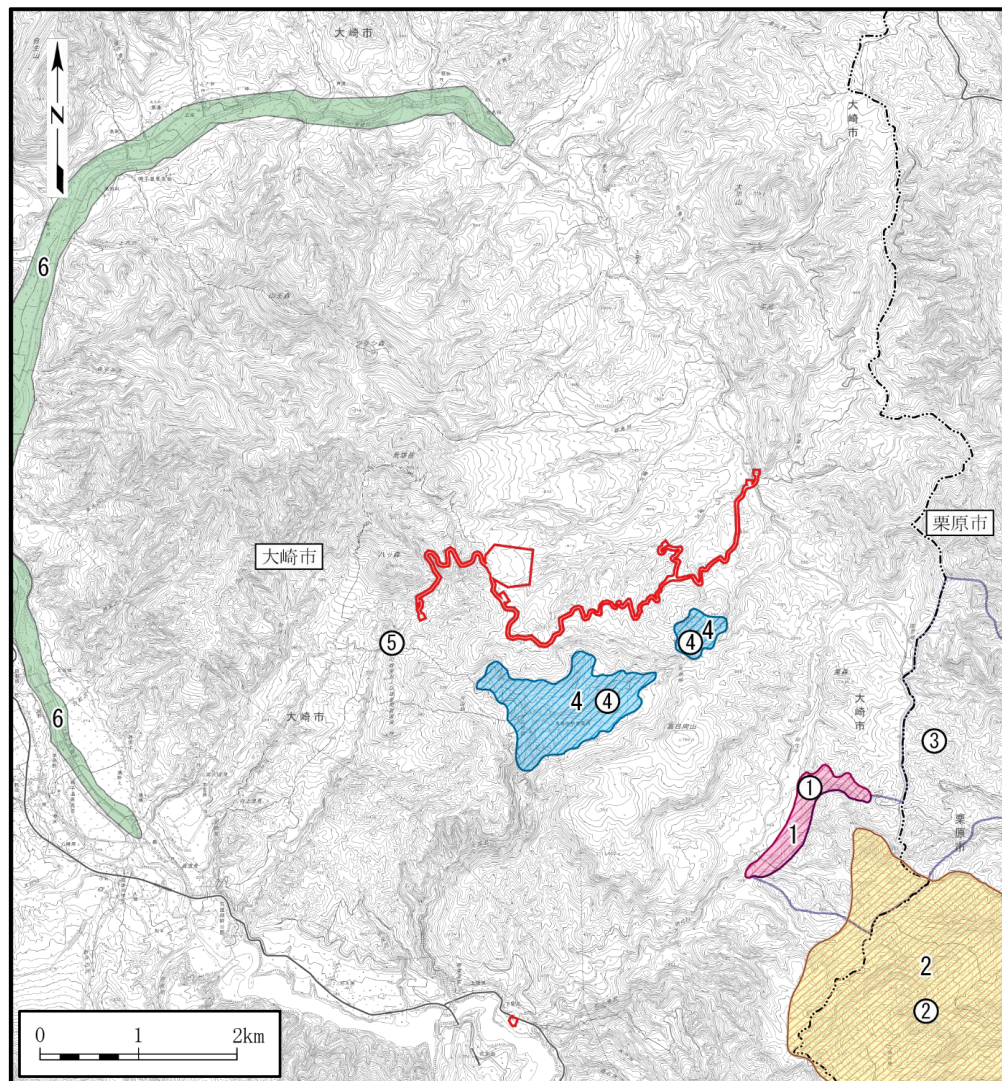
凡 例

事業実施想定区域

保安林（「国有林」または「民有林」）

# 生態系／予測結果(5/6)

## ●重要な群落



- ✓ 宮城県R：「田代のハルニレ群落」等16箇所[\*1]
- ✓ 環境省基礎調査：「特定植物群落」として「片山地獄地域の硫気孔荒原植物群落」等16箇所[\*2]
- ✓ 事業実施想定区域周辺に重要な群落は9箇所存在

### 凡 例

事業実施想定区域

宮城県の「レッドデータブック」に記載されている植物群落

- ① 田代のハルニレ群落
- ② 六角のススキ群落
- ③ 一桧山の植物群落
- ④ 片山地獄地域の硫気孔荒原植物群落
- ⑤ 雌釜・雄釜の噴気孔荒原植物群落

### 特定植物群落

- 1 田代のハルニレ林
- 2 六角のススキ草原
- 4 片山地獄地域の硫気孔荒原植物群落
- 6 荒雄川の河辺林

\*1：「宮城県の希少な野生動植物－宮城県レッドリスト－」（宮城県、2024(令和6)年）

\*2：「第5回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」（環境庁、2000(平成12)年）

## ●植生自然度



- ✓ 「植生自然度9」に該当する植生が事業実施想定区域の一部に分布
- ✓ ブナ林の伐採を必要最小限とし、既改変区を最大限活用することで全体的な地形改変面積を必要最小限に留める計画

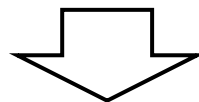
### 凡 例

事業実施想定区域

### 植生自然度

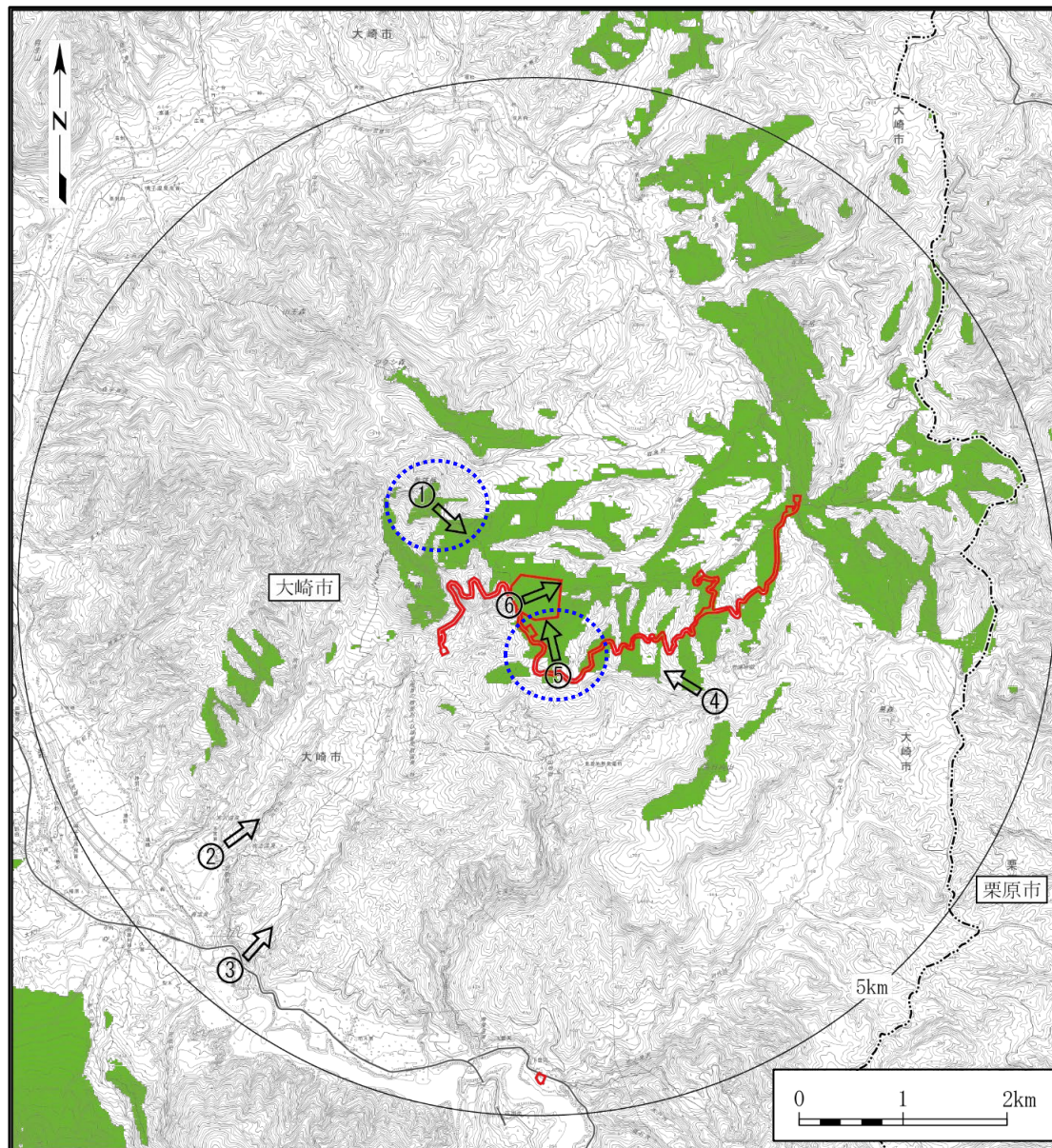
10  
 9

- ✓ 適切かつ十分な環境保全措置を講じること
- ✓ ブナ林の伐採を必要最小限とすること
- ✓ 既改変区を最大限活用することにより全体的な地形改変面積を必要最小限に留める計画であること



地形改変及び施設の存在による  
生態系への重大な影響はないものと評価

# 景観／眺望点からの可視検討（机上検討）



- ✓ 鬼首地熱発電所の旧発電設備である復水器(高さ26m)を仮定、標高データを用い机上検討  
※植生による遮りは未考慮

- ✓ 6箇所の眺望点のうち
  - ①荒雄岳
  - ⑤市道八ツ森線  
(事業実施想定区域南側)  
にて発電設備の視認可能性

## 凡 例

- 事業実施想定区域
- 発電設備が視認できる可能性のある範囲  
(標高データより算出、樹木による遮りは加味していない。)
- No 主要な眺望点の候補地点      ➡ 眺望方向
- ① 荒雄岳                      ④ 市道片山線・八ツ森線三叉路（水神峠）付近
- ② 吹上高原                ⑤ 市道八ツ森線（事業実施想定区域南側）
- ③ 荒雄湖畔公園          ⑥ 市道八ツ森線（事業実施想定区域西側）

- ✓ 机上検討にて発電設備を視認できる可能性のある主要な眺望点とした「①荒雄岳」「⑤市道八ツ森線（事業実施想定区域南側）」の2地点を対象に現地確認を実施

## ①荒雄岳



撮影日：2024年8月1日 レンズ：35mmフィルム換算28mm相当

事業実施想定区域が存在する南東側は「チシマザサ・ブナ群団」により遮蔽され事業実施想定区域方向を視認できる可能性は低い

## ⑤市道八ツ森線（事業実施想定区域南側）



撮影日：2024年10月15日 レンズ：35mmフィルム換算28mm相当

事業実施想定区域が存在する北西側は「スギ・ヒノキ・サワラ植林」により遮蔽され事業実施想定区域方向を視認できる可能性は低い



## ●主要な眺望点への影響

- ✓ 事業実施想定区域には主要な眺望点が存在しないことから、地形改変及び施設の存在による直接的な影響は小さいものと予測

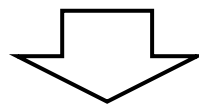
## ●景観資源への影響

- ✓ 「鬼首火山群」「鬼首カルデラ」の一部が改変されるものの、地形改変は敷地内の一部に限られ、樹木の伐採は限られた範囲とすること、これらの景観資源は周辺にも広く分布することから、影響は小さいものと予測

## ●眺望景観への影響

- ✓ 主要な眺望点と発電設備の間に存在する「チシマザサーブナ群団」及び「スギ・ヒノキ・サワラ植林」により遮蔽され、主要な眺望点から事業実施想定区域方向を視認できる可能性は低いことから、影響は小さいものと予測

- ✓ 主要な眺望点の直接改変はないこと
- ✓ 「鬼首火山群」「鬼首カルデラ」の一部が改変されるものの、地形改変は敷地内の一部に限られること、樹木の伐採は限られた範囲とすること、これらの景観資源は周辺にも広く分布すること
- ✓ 主要な眺望点からの眺望景観については、事業実施想定区域を視認できる可能性は低いこと



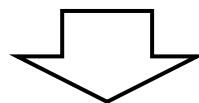
地形改変及び施設の存在による  
景観への重大な影響はないものと評価

## ●動物・植物・生態系

- ✓ 今後実施する現況調査結果を踏まえ、適切かつ十分な環境保全措置を講じること、既改変区を最大限活用することにより全体的な地形改変面積を必要最小限に留めること等から、影響は小さいものと予測

## ●景観

- ✓ 眺望点から事業実施想定区域を視認できる可能性は低く、影響は小さいものと予測



事業計画について  
重大な環境影響は回避・低減されているものと評価

ご清聴ありがとうございました

